



笑顔と情熱で 地域を守る

CONTENTS / 目次

広報かのや No.332 November 2019

- 04 特集
「先端技術で農業を変える」
- 10 温故写新/カノヤタイムトラベル
- 11 夢のかけはし「徳田 瑞穂さん」
- 12 みんなの Hot News
- 14 「ふるさと納税」、活用されています。
- 16 県畜産共進会・県ホルスタイン共進会
- 17 かのや「ばら」と「海」
フォトコンテスト 2019
- 18 知って役立つ情報掲示板
- 22 すこやか直幸便/
休日救急当番医・歯科休日急患在宅医
- 23 輝け！ジューダイ/おしごとの時間
- 24 市民のひろば
- 25 ココ de チャレンジ！
- 26 カノスポ
- 28 プレゼント・映画情報



鹿屋市消防団女性消防隊「ローズ隊」

「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、本業を持ちながら地域の安全と安心を守るため、昼夜を問わず活動している鹿屋市消防団。その中には女性団員のみで構成された女性消防隊「ローズ隊」があります。平成28年7月に11人で発足したローズ隊は、高齢者への防火広報をはじめ、市内で開催されるイベント時に、防火に関するチラシ配布や声掛けなど地道な活動も続けています。14人の隊員を束ねる新保貴子隊長は、「一人でも多くの女性団員の仲間を増やして、防火・防災について広く市民に伝えていきたい。また、救命指導補助など新たな活動にも積極的に取り組んでいきたい」と今後の意欲を話してくれました。



軽可搬ポンプ操作の練習
11月13日(水)の「全国女性消防操法大会」へ県代表として鹿屋から初出場。日々練習に励む。

今月のカバー



農業の未来を担うドローン

今号の特集テーマは「スマート農業」。市内でも先端技術を活用した機器の導入が進められています。表紙は、田畑の上空を飛行しながら薬剤を散布することができる農業用ドローンのプロペラ部分。全長約1.5m、重さ10kgほどの小さな機体には、農業に携わる方々の大きな期待が込められています。